

II 調査研究の方法等

1 調査方法と内容

調査については、以下3つの調査を実施した。

(1) 団体アンケート（県内13、県外19 計32団体）

① 対象

ここでは、主として学校支援地域本部の設置に先だって学校支援ボランティア活動が展開され、そのためのコーディネーションが何らかの形で行われている団体（学校支援ボランティアコーディネーターの会、その他コーディネーターを配置している学校や事業等の組織）に対して、アンケート調査を行った。

サンプルは両センターがこれまで収集したデータ及びHPなどから検索して得たものである。

② 内容

A 組織

組織について設置年や会員数、目的を、コーディネーターについて人数や主な経歴、活動拠点、専用の部屋の有無などを調査した。

B コーディネーションの実際

コーディネーションについて、具体的な活動内容、コーディネーションの動き、コーディネートした活動内容、行政とのかかわり、活動上の留意点、成果と課題を調査した。

(2) 団体ヒアリング(4団体)

① 方法 アンケート調査の結果、特徴的な団体をいくつか選択し、聴き取り調査を行った。

② 内容 コーディネーションの動きを中心に、特徴的な内容と留意点と成果や課題。

(3) コーディネーターアンケート（栃木県：95名 青森県：62名）

学校支援地域本部事業が平成20年度から実施されたことにともない、栃木県と青森県で学校支援地域本部事業のコーディネーターに(1)とほぼ同様な調査項目でアンケート調査を実施した。

2 調査期間等

調査期間は、平成20年5月～平成21年3月とし、以下のように実施した。

- 事例収集 平成20年6月～9月
- アンケート調査 平成20年10月～12月
- 事例の分析・検討 平成20年12月～平成21年1月
- ヒアリング調査 平成21年2月

また、本研究は、宇都宮大学生涯学習教育研究センターと栃木県総合教育センター生涯学習部の共同により実施した。